

令和五年一月一日 祈願祭

神 示

神示に「真理」を読み取り 社会を正しく見詰める「悟り」を持つ

今日 社会の姿は 時代の運命を受けて 大きく変わった

信者は 「教え」に生きて 「真理」を人生の支えに生きる時代と気付くべし

時代の変化に気付けずに 知識と努力を頼って生きる人々も多い

変化に心のみ込まれ 悩み 苦しみ 迷いを深める因が ここにある

時代の変化は 自然の姿に現れる

人類は 変化に合わせて 社会の機構を変えていく

その時 多くの人々が 時代の運命に心流され 枯れていく

信者に教えん

人間は 神の手の中 運命を通し 人生守られている

家族で「教え」を学び 「真理」に生きる家庭を築く人々は

互いに実体を高め合い 運命に守られ 導かれた人生が歩める

運命に守られる人の心は安定し

時代の運命を受けて ますます「心の道」に良き実体を残し

その家庭は榮えていく

地域社会も 運命に守られ ますます発展してゆく

その時 地域の実体は安定し 自然災害にのみ込まれることもない

時代の運命に逆らわず 全ての体験が 人生を支える気付きと返る

神の手の中 運命に守られ 導かれて「生きる」 人間の姿が ここにある

社会機構を見るのではなく

時代の変化を読み取り 流れに乗って日々生きる信者を目指す

「教え」に悟りを得て 実体を高めることができる人々には 難しいことではない

神魂が使者を通し 社会に「真理」を示す 神魂の時代を大切に――

神示を軽んじてはいけない

神示に「真理」を読み取れる人々が 社会を「正道」へと導く時代に入っていく